

サイバーセキュリティ関連情報（4月号）

鳥取県警察本部サイバー犯罪対策課

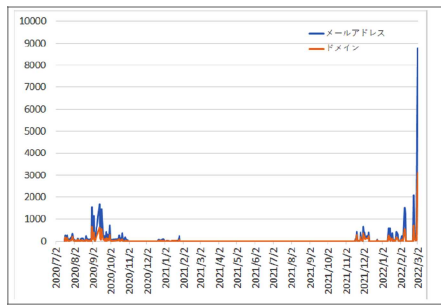
○ マルウェアEmotetの感染再拡大！！

一般社団法人JPCERTコーディネーションセンター（JPCERT/CC）は、今年2月の第一週より感染が急速に拡大しているマルウェア「Emotet（エモテット）」に関して、メール送信に悪用される可能性のある「.jpメールアドレス」の数が令和2年の感染ピーク時の約5倍以上に急増していることを示す観測情報を公開しています。

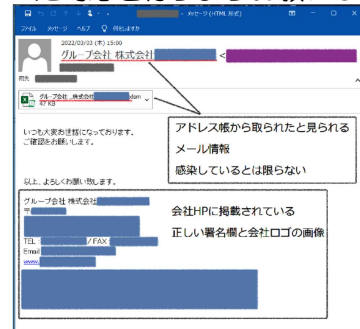
また、メール送信の際のなりすましの新たな手法として、メールの添付ファイル名やメール本文中に、なりすまし元の組織名や署名などが掲載されるケースが確認されています。

この場合、Emotetに感染した端末内のメーラーのアドレス帳から窃取したとみられる情報が用いられると考えられており、なりすまされている会社がEmotetに感染しているとは限りません。

取引先などから送付されているようにみえるメールであっても、安易に添付ファイルやリンクを開かず、確実な手段で送信元へ確認するといった対応を行うようお願いいたします。



【Emotetに感染しメール送信に悪用される可能性のある.JPメールアドレス数の新規観測の推移】



【Emotetメールサンプル】

引用：JPCERTコーディネーションセンター <https://www.jpcert.or.jp/at/2022/at220006.html>

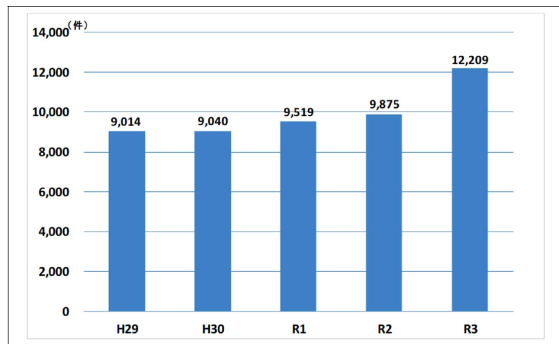
○ サイバー犯罪の検挙件数12,209件 過去最多を更新

警察庁が今年4月7日に公表した広報資料「令和3年におけるサイバー空間をめぐる脅威の情勢等について」によると、キャッシュレス決済の普及等を背景として、令和3年中のサイバー犯罪検挙件数は12,209件で過去最高を記録しました。

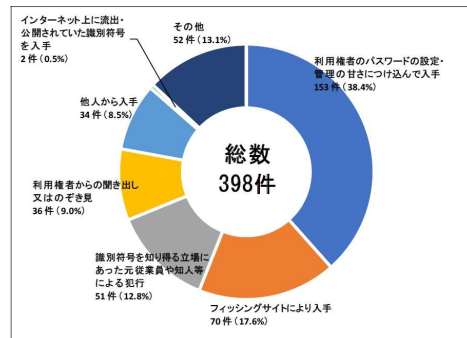
また、不正アクセス禁止法違反による検挙件数は429件であり、このうち、他人の識別符号（ID/パスワードなど）を無断で入力する「識別符号窃用型」の不正アクセスが398件と全体の92.8%を占めています。

さらに、「識別符号窃用型」の不正アクセスの手口は、「利用権者のパスワード設定・管理の甘さにつけ込んで入手」が153件と最も多く、全体の38.4%を占めており、次いで「フィッシングサイトにより入手」が全体70件で全体の17.6%を占めています。

不正アクセスの被害に遭わないためにも、パスワードはできるだけ長く複雑なものを設定し、複数のサービスで使い回さないようにしましょう。



【サイバー犯罪の検挙件数の推移】



【不正アクセス行為（識別符号窃用型）に係る手件数件数】

参考：警察庁 https://www.npa.go.jp/publications/statistics/cybersecurity/data/RO3_cyber_jousei.pdf